

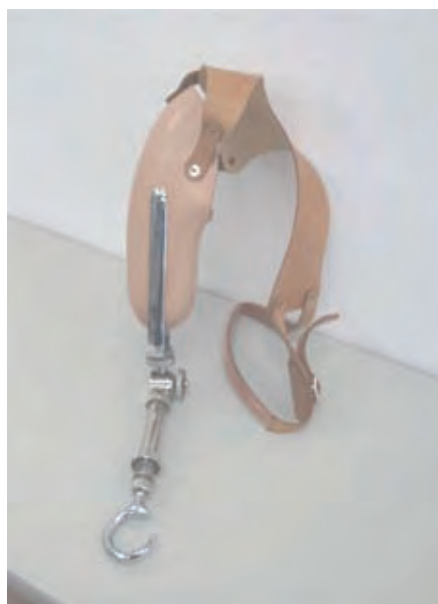
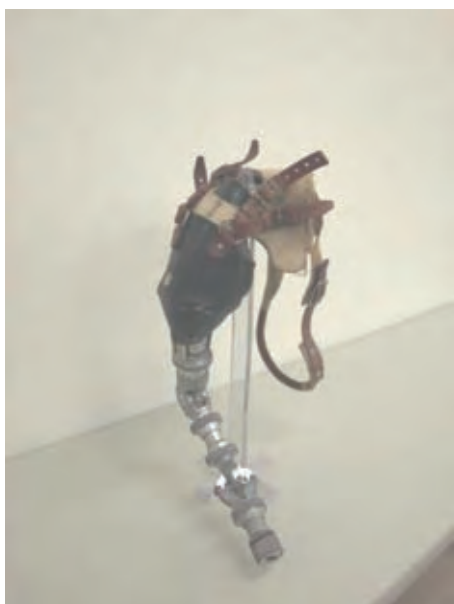
Ⅲ 各種義手

(写真提供：橋本義肢製作株式会社)

1 作業用義手



健手を用いて各継手を任意の角度に動かして固定する。



ソケットアダプタと手動式継手（肘・手）がパイプ支持部と一体化している。

2 作業用義手手先



双嘴鉤



能動義手手先 1



能動義手手先 2



特殊能動義手手先



鎌持ち金具



鍬持ち金具

【双嘴鉤（そうしこう）】 作業用手部

3本の鉤で対象物をはさむ。爪の開閉は根元についている蝶螺子を使う。

【能動義手手先 1（ホスマー ドーランスフック）】 能動義手用フック随意開式

2本の鉤爪が、ハンド基部にあるレバーを引く事で開く。写真は先端が手前に曲がったカンテッドタイプ。

【能動義手手先 2（APRL-sierra）】 能動義手用フック随意閉式

2本の鉤爪が、ハンド基部にあるレバーを引く事で閉じる。

【特殊能動義手手先】

小原工業社製の形状が特殊なフック。

【鎌持ち金具】 【鍬持ち金具】 作業用手先具

作業目的によって手先具が迅速に交換できる。先端のボルトで鎌・鍬を固定する。

3 装飾用義手



装飾用義手とは、見た目を重要視した義手であり、物を掴むなどの機能は有していない。日本では装飾用義手を使用する者の割合が上腕切断者の8割を越えているとの報告があるが、世界的にも珍しい傾向である。現在は安価で耐久性に優れている塩化ビニール性の装飾用義手が主流である。見た目を重視したシリコン製の義手も使われているが、高価であることや耐久性が劣る事などから普及が遅れている。